



プレシヤスネット

子育てをしながらも、自分の時間を大切にしたい。子育てを楽しみつつ、女性としても輝きたい。そんなママたちの願いを形にする場や情報を吉祥寺を中心に発信しています。



理事長の齋藤理恵子さん(写真右から3番目)と運営スタッフの皆さん

育児中だからといって、やりたいことを諦めない

女性の生活は出産と同時に一変し、これまでできたことができなくなるという現実があります。ヨガのレッスン、レストランでの食事、映画、ショッピング：子どもができたなら「これまで通り」というわけにはいきません。では、すべてを諦めなければならぬのでしょうか？ 育児をしているからといって自分を押し込まずに生きている。ママ自身がワクワクする場所や時間をたくさん持って、子育てを楽しもう。そんな思いを込めた言葉が「ママよ、わがままであれ！」。NPO法人プレシヤスネットの活動は、この言葉に集約されると言ってもよいでしょう。

ハッピーなママたちの笑顔が
明るい社会の形成に貢献する

活動の発端は、0歳児を持つママたちが2008年に開いたハロウィンパーティ。「楽しかった！」「またやってほしい」という声が多く、2011年からは吉祥寺の商店街、企業を巻き込んだイベント「吉祥寺ハロウィンフェスタ」



ハロウィンパレードの様子。子どもたちの笑顔がまぶしい



毎年拡大し続けるハロウィンイベント



ヨガ、ピラティスなど子どもと一緒に参加できる



ミーティングはいつもわいわいと一緒に楽しみながら

へと発展させ、現在協力店舗は100店以上、6000人を超える参加者を集める一大イベントとなっています。2015年にはプレシヤスネットとして法人化。ハロウィンフェスタの運営のほか、子連れで行ける講座やイベントの開催、企業と協賛でママさんモニターによる商品開発などを行っています。

情報はSNSで配信し、サイトに登録すると自動配信される仕組み。約5000人の登録があり、「ブレネがあったから育児中も頑張れた」「ありがとう！」などの声が、ボランティアで運営を行うスタッフの励みになっています。「ママがハッピーであれば家庭は円満でしょう？」とは、理事長の齋藤理恵子さん。ママの笑顔の「WA」が社会全体へ広がって行くよう女性たちの声に耳を傾け、プレシヤスネットは活動を続けていきます。

NPO法人 プレシヤスネット

2011年「第1回吉祥寺ハロウィンフェスタ」開催。これを機に活動を開始し、2015年にはNPO法人に。30名の運営スタッフはすべて育児中のママで、ママ向けの講座・イベントの開催、吉祥寺を中心にママ向けの情報の発信を行っている。

NPO法人プレシヤスネット
<https://ameblo.jp/precious-net>